



AIN SHAMS UNIVERSITY REHABILITATION DEPARTMENT (CAIRO·EGYPT) FACULTY VISIT

(2019/8/30)

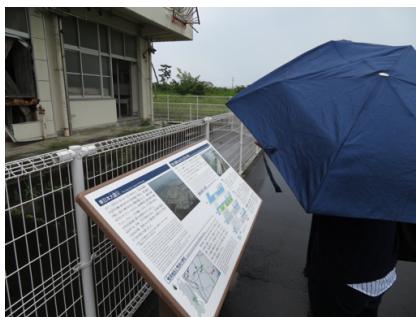
テーマ：国際交流， 2011 年東北地方太平洋沖地震、カスケード超巨大地震

場所： 震災遺構 仙台市立荒浜小学校／東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

8月30日、AIN・シャムス大学リハビリテーション科（カイロ・エジプト）より Shereen Fawaz 講師が当研究所を訪れました。Shereen Fawaz 講師は高周波反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) の研究者で、今回は8月19-30日の期間、日本リハビリテーション学会のトラベリングフェローとして東北大学病院肢体不自由リハビリテーション科で研修をされていました。研修最終日となった8月30日、肢体不自由リハビリテーション科の奥山純子助教とともに仙台市立荒浜小学校や閑上地区などの東日本大震災の災害遺構を視察しました。また、東北大学災害科学国際研究所の災害医療国際協力学研究室を訪問し、江川新一教授より大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team; JRAT) やご研究について講義いただきました。

Shereen Fawaz 講師より、災害医学に関して今後の連携・協働体制について提案がなされました。今後エジプトをはじめ、さらなる国際的な連携体制の確立を目指していきたいと思います。

文責：奥山純子（東北大学病院肢体不自由リハビリテーション科）



震災遺構 仙台市立荒浜小学校を見学



震災遺構 仙台市立荒浜小学校 3階の書棚に残る津波到達の痕跡



東北大学災害科学国際研究所の災害医療国際協力学研究室を訪問



江川新一教授より講義を受ける